

平成26年度
武田学園 事業報告書



きよらかに、凛と
学校法人 武田学園

平成26年度武田学園事業報告書

目次

I. 法人の概要	1
1. 武田学園の教育	1
2. 沿革	2
3. 設置校及び所在地	5
4. 役員	6
5. 学生数	6
6. 教職員数	7
7. 組織概要	8
II. 事業の概要	9
1. 学部学科の設置	9
2. 認証評価	9
3. 教育研究活動	9
4. 国際交流	13
5. 地域連携	13
6. 学生支援サービス	14
7. キャンパス整備	14
8. キャリア形成と卒業生の進路・就職状況	15
III. 財務の概要	21
1. 財産目録	21
2. 貸借対照表	22
3. 収支計算書	23
4. 監事の監査報告書	28

I. 法人の概要

1. 武田学園の教育

建学の精神

第二次大戦後の混乱の時代に、故武田ミキは日本の再建のためには「真実に徹した堅実なる女性」の育成こそが急務であると強く感じ、永年の女子教育の経験を生かし、不動の信念と堅い決意をもって、昭和 23 年に本学園を創立しました。

日本女性の持つ伝統的な礼節・慈愛・勤勉という特性を高揚・伸長し、社会風潮に流されることなく、正しく 強く 明るく 生きぬく女性を育成すること、これが本学園の建学の精神です。

学園訓

- 一、真理を究め正義に生き勤労を愛する人になりましょう。
- 一、責任感の強い逞しい実践力のある人になりましょう。
- 一、謙虚で優雅な人になりましょう。

教育方針

学園は、教育基本法及び学校教育法の定めるところに従い、建学の精神及び「心を育て 人を育てる」という建学の理念に則り、現代社会を支える学問の基礎・基本となる教養と時代の変化・発展に対応できる専門的学問を教授研究し、深い知識と高い識見と豊かな人間性を養い、もって社会の要請に応え得る人間の育成を目的とします。

教育目標

学園は、その理念・目的を踏まえつつ、それぞれの専門的な立場から「正しい判断力とたくましい実践力を身につけた」人材の養成を目指しています。

2. 沿革

昭和23年 3月31日	広島県可部女子専門学校設立認可 設立者武田ミキ校長となる。
昭和23年 4月15日	広島県安佐郡亀山村四日市699番地（高宮中学校内）において同校開校
昭和27年 7月15日	私立学校法第31条の規定に基づき学校法人武田学園設立認可
昭和37年 1月20日	可部女子短期大学（被服科入学定員40人，収容走員80人）設置認可 武田ミキ学長となる。
昭和37年 3月31日	広島県可部女子専門学校廃校
昭和37年 4月 1日	広島県安佐郡可部町大字中島1810番地において可部女子短期大学開学
昭和39年 1月17日	可部女子短期大学に食物栄養科食物専攻，栄養専攻設置認可
昭和39年 2月24日	可部女子短期大学食物栄養科に，「中学校教諭二級普通免許状（家庭）」授与の資格を得させるための課程認定
昭和39年 3月31日	可部女子短期大学食物栄養科栄養専攻を栄養士養成施設として指定される。
昭和39年 4月 1日	可部女子短期大学食物栄養科開設
昭和40年 1月25日	可部女子短期大学に国文科，英文科設置認可
昭和40年 2月22日	可部女子短期大学国文科，英文科に，「中学校教諭二級普通免許状 国文科に国語，英文科に外国語（英語）」授与の資格を得させるための課程認定
昭和40年 4月 1日	可部女子短期大学国文科，英文科開設
昭和41年 1月25日	広島文教女子大学文学部（国文学科，英文学科）設置認可 武田ミキ学長となる。
昭和41年 4月 1日	広島文教女子大学文学部国文学科，英文学科に，「高等学校教諭二級普通免許状，中学校教諭一級普通免許状 国文学科に国語，英文学科に外国語（英語）」授与の資格を得させるための課程認定
昭和41年 4月 1日	広島県安佐郡可部町大字上原1238番地において広島文教女子大学開学
昭和41年 4月 1日	「可部女子短期大学」を「広島文教女子大学短期大学部」と校名変更
昭和42年12月28日	短期大学部食物栄養科「栄養専攻」を「食物栄養専攻」と専攻名変更
昭和44年 2月 8日	短期大学部食物栄養科食物専攻に，「中学校教諭二級普通免許状（保健）」授与の資格を得させるための課程認定
昭和45年 1月21日	短期大学部に幼児教育学科設置認可
昭和45年 1月24日	短期大学部幼児教育学科を「保母」養成施設として指定される。
昭和45年 2月13日	短期大学部幼児教育学科に，「幼稚園教諭二級普通免許状」授与の資格を得させるための課程認定
昭和45年 2月26日	短期大学部の「国文科」を「国文学科」に，「英文科」を「英文学科」に，「被服科」を「服飾学科」に，「食物栄養科」を「食物栄養学科」に，学科名変更認可
昭和45年 4月 1日	短期大学部幼児教育学科開設
昭和51年 3月29日	広島文教女子大学及び広島文教女子大学短期大学部の聴講生の課程に，教員免許状授与の資格を得させるための課程認定（適用時期 昭和51年4月1日）
昭和53年 4月 1日	短期大学部服飾学科を「2級衣料管理士」養成大学として認定される（社団法人日本衣料管理協会）。

昭和56年 1月16日	文学部に初等教育学科設置認可
昭和56年 2月10日	広島文教女子大学文学部初等教育学科に、「小学校教諭一級普通免許状」授与の資格を得させるための課程認定（適用時期、昭和56年4月1日）
昭和56年 4月 1日	文学部初等教育学科開設
昭和58年11月19日	武田学園創立35周年記念式典挙行
昭和60年 2月 9日	広島文教女子大学文学部国文学科に、「高等学校教諭二級普通免許状（書道）」授与の資格を得させるための課程認定（適用時期 昭和60年4月1日）
昭和60年 3月26日	大韓民国全州教育大学と広島文教女子大学間における研究及び教育の協力について協定を結ぶ
昭和61年 3月18日	広島文教女子大学大学院設置認可 文学研究科国語学国文学専攻（修士課程）
昭和61年 4月 1日	広島文教女子大学大学院文学研究科国語学国文学専攻開設
昭和62年 3月18日	大学院文学研究科教育学専攻（修士課程）増設認可
昭和62年 4月 1日	大学院文学研究科教育学専攻開設 広島文教女子大学大学院文学研究科国語学国文学専攻に、「高等学校教諭一級普通免許状（国語）」授与の資格を得させるための課程認定（適用時期 昭和62年4月1日）
昭和63年 4月 1日	広島文教女子大学文学部初等教育学科に、小学校教諭一級普通免許状授与の資格を得させるための聴講生の課程認定（適用時期 昭和63年4月1日）
昭和63年 5月24日	中華人民共和国大連外国語学院と広島文教女子大学間における研究及び教育の協力について協定を結ぶ。
平成元年 2月14日	文学部初等教育学科に、幼稚園教諭一級普通免許状授与の資格を得させるための課程認定（適用時期 平成元年4月1日）
平成元年 4月 1日	文学部に、社会教育主事課程設置
平成元年 4月 1日	文学部に、学芸員課程設置
平成元年 4月 1日	短期大学部「服飾学科」を「生活科学科」に名称を変更
平成 2年 2月20日	大学院文学研究科教育学専攻に、「小学校教諭専修免許状及び幼稚園教諭専修免許状」授与の資格を得させるための課程認定（適用時期 平成2年4月1日）
平成 2年 4月 1日	短期大学部食物栄養学科食物専攻学生募集停止
平成 3年12月20日	短期大学部食物栄養学科「入学定員50人 収容定員100人」に変更認可（変更時期 平成4年4月1日）
平成 4年 4月 1日	食物栄養学科の専攻課程廃止
平成 5年 3月19日	大学院文学研究科 英米文学専攻（修士課程）増設認可 大学院文学研究科英米文学専攻に「中学校教諭専修免許状 外国語（英語）、高等学校教諭専修免許状 外国語（英語）」授与の資格を得させるための課程認定（適用時期 平成5年4月1日）
平成 5年 4月 1日	大学院文学研究科英米文学専攻開設
平成 6年 4月 1日	短期大学部幼児教育学科学生募集停止
平成 7年12月22日	短期大学部専攻科栄養専攻（修業年限2年）の設置が文部省において受理される。
平成 8年 1月29日	短期大学部専攻科栄養専攻は学位授与機構が定める要件（学位規則第6条第1項）を満たす専攻科として認定される。

平成 8年 4月 1日	短期大学部専攻科栄養専攻開設
平成 8年 5月28日	短期大学部幼児教育学科を廃止
平成11年 3月19日	文学部国文学科, 英文学科に「高等学校教諭一種免許状 国文学科に『国語』『書道』, 英文学科に『英語』, 中学校教諭一種免許状 国文学科に『国語』, 英文学科に『英語』, 初等教育学科に, 「小学校教諭一種免許状 幼稚園教諭一種免許状」授与の資格を得させるための課程認定(適用時期 平成11年4月1日)
平成11年 5月31日	4年制大学の充実を図るため「文学部国文学科, 英文学科」及び「短期大学部国文学科, 英文学科」の学生募集を平成12年4月から停止して, 新たに「人間言語学科 (入学定員120人, 編入学定員10人), 人間文化学科 (入学定員120人, 編入学定員10人), 人間福祉学科 (入学定員100人, 編入学定員20人)」の新設を設置申請
平成11年 7月28日	新学科設置申請認可 人間言語学科 入学定員120人, 編入学定員10人, 収容定員500人 人間文化学科 入学定員120人, 編入学定員10人, 収容定員500人 人間福祉学科 入学定員100人, 編入学定員20人, 収容定員440人 (開設時期 平成12年4月1日)
平成11年 8月 5日	学部名の「文学部」を「人間科学部」に名称変更届出
平成11年10月29日	学部名の「文学部」を「人間科学部」に名称変更届出受理 (変更時期 平成12年4月1日)
平成11年12月24日	司書教諭講習科目の相当する授業科目開設について届出受理 (開設時期 平成12年4月1日)
平成12年 2月29日	人間科学部人間言語学科に「高等学校教諭一種免許状, 中学校教諭一種免許状, 国語コースに (国語), 英語コースに (英語)」人間文化学科に「高等学校教諭一種免許状 (書道)」授与の資格を得させるための課程認定 (適用時期 平成12年4月1日) 学部名「文学部」を「人間科学部」に名称を変更
平成12年 4月 1日	既設の文学部国文学科, 英文学科 (2学科は平成12年4月学生募集停止) のほか, 人間科学部に, 人間言語学科 (入学定員120名, 編入学定員10名), 人間文化学科 (入学定員120名, 編入学定員10名), 初等教育学科 (入学定員80名), 人間福祉学科 (入学定員100名, 編入学定員20名) 開設。 短期大学部は, 既設の国文学科, 英文学科 (2学科は平成12年4月学生募集停止), 生活科学科, 食物栄養学科となる。
平成12年12月21日	人間科学部人間福祉学科に「高等学校教諭一種免許状 (福祉)」授与の資格を得させるための課程認定 (適用時期 平成13年4月1日)
平成13年 5月29日	短期大学部英文学科を廃止
平成14年 4月 1日	人間科学部に心理学科 (入学定員70名, 編入学定員10名), 人間栄養学科 (入学定員70名) 開設 短期大学部生活科学科, 食物栄養学科の学生募集を停止する。
平成14年 5月 7日	大学院文学研究科教育学専攻臨床心理学コースに「臨床心理士」受験資格に関する指定 (第2種) を受ける (指定時期 平成15年4月1日, ただし協会指定運用内規により平成14年4月1日から遡及適用)。
平成14年 5月29日	短期大学部国文学科を廃止
平成15年 5月12日	短期大学部生活科学科を廃止
平成16年 4月 1日	人間科学部人間文化学科の学生募集を停止 人間言語学科 (入学定員70名, 編入学定員10名) に再編成 短期大学部専攻科栄養専攻の学生募集を停止

平成16年12月22日	文学部国文学科を廃止
平成17年 3月29日	人間科学部人間栄養学科に「栄養教諭一種免許状」授与の資格を得させるための課程認定（適用時期 平成17年4月1日）
平成17年 4月 1日	大学院文学研究科の名称を「人間科学研究科」と改称
平成17年 5月16日	独立行政法人大学評価・学位授与機構へ短期大学部専攻科栄養専攻の廃止届出
平成17年 5月30日	短期大学部を廃止
平成17年 7月 6日	人間科学研究科教育学専攻収容定員の変更に伴う学則変更届出 平成18年4月1日国語学国文学専攻入学定員5名（収容定員10名）、英米文学専攻入学定員5名（収容定員10名）の学生募集を停止し、教育学専攻の入学定員10名（収容定員20名）、平成19年4月入学定員15名（収容定員30名）とする。
平成18年 3月31日	文学部英文学科を廃止
平成20年 4月 1日	大学院人間科学研究科人間福祉学専攻を開設
平成21年 4月 1日	人間科学部人間言語学科の学生募集停止
平成22年 4月 1日	人間科学部グローバルコミュニケーション学科（入学定員70人、編入学定員5人）を開設
平成24年 4月17日	人間科学部初等教育学科及び人間福祉学科収容定員の変更に伴う学則変更届出 平成25年4月1日初等教育学科入学定員80名（収容定員320名）を入学定員100名（収容定員400名）、人間福祉学科入学定員100名（収容定員440名（編入学40名））を入学定員80名（収容定員360名（編入学40名））に変更
平成27年 3月31日	人間科学部人間言語学科を廃止

3. 設置校及び所在地

- <大 学> 広島文教女子大学（広島市安佐北区可部東 1-2-1）
人間科学部（初等教育学科、人間福祉学科、心理学科、人間栄養学科、グローバルコミュニケーション学科）
- <大 学 院> 広島文教女子大学大学院（広島市安佐北区可部東 1-2-1）
人間科学研究科（教育学専攻、人間福祉学専攻）
- <高 等 学 校> 広島文教女子大学附属高等学校（広島市安佐北区可部東 1-2-3）
全日制課程普通科
- <幼 稚 園> 広島文教女子大学附属幼稚園（広島市安佐北区可部東 1-1-15）

4. 役員

(平成 26 年 4 月 1 日現在、理事定数 11 名、現員 11 名、監事定数 2 名、現員 2 名)

理事 (理事長)	武田 義輝	理事 (非常勤)	大越 藤夫
理事 (学長)	角重 始	理事 (非常勤)	児玉 裕志
理事 (校長)	石井 宏佳	理事 (非常勤)	田中 豊實
理事 (園長)	栗屋 一枝	理事 (非常勤)	大内 良治
理事 (学園統括部長)	金本 潔	理事 (非常勤)	栗屋 充博
理事 (非常勤)	桑原 正彦	監事 (非常勤)	友廣 和有
監事 (非常勤)	久保田宏温		

5. 学生数

大学等における 3 年間の在籍状況は、次表のとおりです。(各年度 5 月 1 日現在)

区 分	平成 24 年度			平成 25 年度			平成 26 年度		
	現員	収容 定員	充足率	現員	収容 定員	充足率	現員	収容 定員	充足率
広島文教女子大学	1,256	1,671	0.75	1,291	1666	0.77	1,298	1,666	0.78
大 学 院	13	36	0.36	10	36	0.28	14	36	0.39
人 間 科 学 部	1,243	1,635	0.76	1,281	1630	0.78	1284	1,630	0.79
人 間 言 語 学 科	25	80	0.31	2	--	-	2		
グロバールコミュニケーション 学 科	74	215	0.34	105	290	0.36	128	290	0.44
初 等 教 育 学 科	482	320	1.50	500	340	1.47	495	360	1.38
人 間 福 祉 学 科	195	440	0.44	204	420	0.48	207	400	0.52
心 理 学 科	150	300	0.50	152	300	0.50	151	300	0.50
人 間 栄 養 学 科	317	280	1.13	318	280	1.13	301	280	1.08
広島文教女子大学 附 属 高 等 学 校	538	480	1.12	566	480	1.17	523	480	1.09
広島文教女子大学 附 属 幼 稚 園	109	160	0.68	144	160	0.90	158	160	0.99
計	1,903	2,311	0.82	2001	2306	0.87	1,979	2,306	0.86

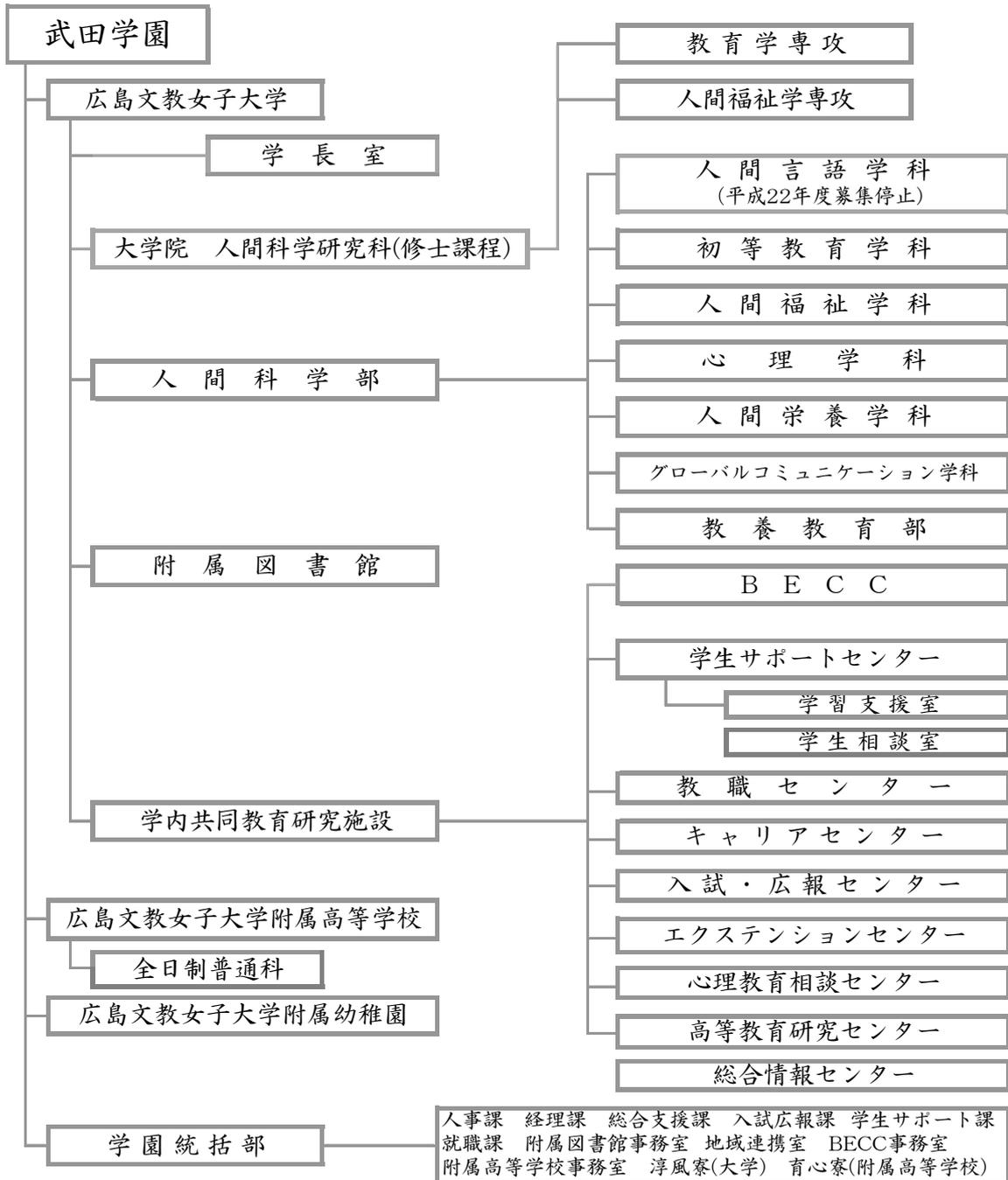
6. 教職員数

(各年度5月1日現在)

区 分	平成 24 年度			平成 25 年度			平成 26 年度		
	専 任 教 育 職 員	非常勤 教 育 職 員	専 任 事 務 職 員	専 任 教 育 職 員	非常勤 教 育 職 員	専 任 事 務 職 員	専 任 教 育 職 員	非常勤 教 育 職 員	専 任 事 務 職 員
広島文教女子大学	93	122	45	92	128	46	90	113	46
附属高等学校	37	17	2	38	18	3	37	18	3
附属幼稚園	7	8	1	10	5	1	9	7	1
計	137	147	48	140	151	50	136	138	50

7. 組織概要 (平成 26 年 4 月 1 日現在)

法人組織及び設置する各学校の組織は、次のとおりです。



II 事業の概要

1. 学部学科

(1) 学科入学定員の変更

平成 25 年度より、初等教育学科と人間福祉学科の入学定員の変更を行いました。
(初等教育学科 80 名→100 名、人間福祉学科 100 名→80 名)

(2) 学科の廃止

休学により過年度在籍中であった人間言語学科学生 2 名が退学したため、平成 22 年度に募集停止とした同学科を、平成 26 年度末をもって廃止しました。

2. 認証評価

広島文教女子大学は、平成 24 年 10 月、公益財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受審し、平成 19 年に続いて「大学評価基準に適合している。」と平成 25 年 3 月 12 日付けで認定されました。

3. 教育研究活動

(1) 広島文教女子大学

① 大学ミッション

平成 26 年度、新たなミッションを次のように制定しました。

「わたしたちは、質の高い教育ときめ細かな支援で、学生一人ひとりの成長を後押しし、社会に役立つ人材を育成します。」

② 教育活動

カリキュラム改革により、導入教育「大学生活概論」「教養演習」を改編・新設すると共に一般教育科目の再編、専門教育科目の継続的な見直しを行い、より適切な教育課程の実現に努めています。さらに、特色ある教育内容・方法として、教育理念及び育成すべき人材像を示し、建学の精神・教育理念を周知する科目「文教学入門」「人間科学入門」、社会で生きることを考えさせる科目「人生論」などを設けて、独自の教育の基礎としています。

平成 25 年度からは入学生全員にタブレット型端末「iPad mini」を配付し、教育内容・方法等の ICT 化を推進しています。

また平成 26 年度に「育心の時間」を開設して建学の精神や教育理念の更なる浸透を期するとともに、学生一人ひとりのニーズに即した教育活動の一層の徹底を図っています。

③ 研究活動

従来の堅実な研究活動に加えて、新たな動きも起こっています。

平成 26 年度には高等教育研究センターを開設し、大学教育改革の調査・研究・推進を図っています。この年度末には研究誌『広島文教女子大学 高等教育研究』（平成 27 年 3 月）を発刊し、その成果を広く学内外に問うています。

(2) 広島文教女子大学附属高等学校

平成 26 年度、新たなミッションを次のように制定しました。

① 高等学校ミッション（目指す生徒像）

「われわれは、さらなる教授力の確立に努め、きよらかに凜とした知性溢れる生徒を育成します。」

② 教育方針

ア. 建学の精神に基づいた心の教育の推進

知識と知恵に裏付けされたしなやかな知性を持ち、誠実さにあふれた生徒を育成します。

イ. 学力の向上と進路指導

自らが学ぶことに価値を見出し、自学・自習ができ、より高い目標に挑戦する生徒を育成します。

ウ. 女性として自立できる教育の実践

さまざまな課題や状況に応じたスピーディかつ的確な判断のもとに、コミュニケーション力を発揮し、リーダーシップのとれる逞しい生徒を育成します。

③ 教育実践

ア. 育心育人教育の推進

- ・ 人に関わるすべての場面で、他者への「敬意」を念頭に置いた振る舞いのできる生徒を育成します。その表れの一つに、その場にふさわしい「あいさつ」ができることを目指します。具体的には、状況に応じて「立ち止って」品位あるあいさつができる生徒を育成します。
- ・ ソシオ活動・課外活動・特別活動を強力に推進し、成功体験や失敗体験を重ねることによって、生徒一人ひとりの知恵を育むと同時に、人と自由に関わる喜びを感じることができる生徒の育成を目指します。
- ・ 環境保護に関心をもたせ、それを実践できる生徒を育成します。
- ・ 教師全員が **Team** として個々の生徒に関わり、あらゆる教育現場（授業、H R、行事、クラブ等）において心を鍛える教育を行います。

④ 進路実現をめざす学力向上への取り組み

- ア. キャリア教育を推進し、社会の仕組みを理解させる中で、生徒自身が将来活躍すべき場所を明確に意識できることを目指します。
- イ. 生徒の進路目標が実現できるよう BFW と BLC を強力に推進し、自学自習ができる生徒を育成します。
- ウ. 明確な将来展望を基盤にして豊富な知識を習得させ、国公立大学をはじめ難関私立大学への進路実現をめざした学力向上に取り組みます。
- エ. 高大連携を強化し、広島文教女子大学との継続的な教育活動をも展開します。
- オ. BECC の活用、海外語学研修修学旅行、留学生との交流等をとおして、

積極的に英語を活用していく態度を育て、英語力の向上を図ります。

カ. 各教科の教職員がFD活動を推進し、Teamとして生徒全員の教科学力の向上を図ります。

⑤ 女性として自立できる教育の実践（「文教フロンティアスピリット：BFS」の推進）

ア. 学園創設者 武田ミキ先生の教育理念を継承し、情熱と愛情に満ち溢れた「逞しい前姿」を見せる教育を実践します。

イ. 知性的で自立した女性を育てるために、「BFS（文教フロンティアスピリット）」活動をさらに発展させ、豊かなコミュニケーション能力と強いリーダーシップを養う教育を推進します。

(3) 広島文教女子大学附属幼稚園

平成26年度、新たなミッションを次のように制定しました。

① 幼稚園ミッション

「わたしたちは、モンテッソーリ教育により、園児の豊かな人生の礎となる最高の教育を行います。」

② 教育目標

「心豊かで 社会性に富み 自立した子ども」を育てる

③ 教育方針

建学の精神である「心を育て 人を育てる」を柱として、一人ひとりの園児への個別的な配慮のもと、「一人で できた」という体験を積み重ねることにより自立を促し、3つの心「元気な心」「強い心」「やさしい心」を育てています。

3つの心とは

元気な心

- ・夢中になって遊び、みんなと喜びを分かち合える子ども
- ・笑顔であいさつできる明るい子ども

強い心

- ・きまりがわかり、我慢強くがんばる子ども
- ・たくさんの興味や好奇心を持てる子ども

やさしい心

- ・友だちを思いやり、みんなと仲良くできる子ども
- ・自分の気持ちや思い、感じたことを素直に表現できる子ども

④ 教育実践

ア. モンテッソーリ教育の実践

クラスは年少、年中、年長、3年齢混合編成をし、見て学び、助け合う園生活の全ての場面においてモンテッソーリ教育法を基盤としています。

登園後の約2時間のチャレンジタイム（モンテッソーリ教具を用いた個別の自由選択活動）での“できた”の体験を通して、選択力や集中力などを高めています。月・水・金曜日のチャレンジタイム後には、年齢別に分かれてモンテッソーリ教育を踏まえた関わりの分野別（音楽・体育・絵画制作）活動に取り組みました。

教職員は各種のモンテッソーリ教育に根差した園外研修に参加し、教師としての資質向上に努めています。

イ. 絵本、紙芝居の読み聞かせ及び絵本の貸し出し

聞き取る力や創造力を高めるため、絵本、紙芝居に親しめるように毎日の読み聞かせをしています。また、週1回は図書室の絵本の貸し出しも実施しています。

⑤ 大学附属としての利点を活用した専門性のある教育内容と支援

ア. 子育て相談（特別支援教育及び保護者対象の相談活動）

李木先生（臨床心理士）による保護者の子育て相談を月1回開催しています。また、園児の発達に応じた指導を行うために、李木先生に園内研修の講師も務めていただきました。

イ. 森先生と学生による書道教室を年長児対象に実施しました。

ウ. 毎月の誕生会にて、大学教職員及び学生によるパフォーマンスの披露により、園児体験を豊かにしています。

⑥ 地域連携推進事業

ア. 野菜栽培による食育推進事業

本年で4年目を迎えるこの事業は、安佐北区役所（健康長寿課・農林課）、安佐北上原自治会の方々のご協力によります。里芋と落花生の植え付けから収穫までを年長児が体験しました。

イ. 地域の教育力の活用

地域の女性会の方々に指導していただいた盆踊りを、園行事の「花火大会」で、女性会の方々と一緒に踊り、夏祭りを楽しみました。

⑦ 子育て支援

ア. ころころフレンズ

入園前（2歳児）の親子を対象にモンテッソーリ教育を基盤として自立を援助する活動を行っています。4月から9月は希望者全員を迎え入れ、90分の活動からはじめます。10月の入園受付後は入園確定した幼児のみを対象にし、活動時間を伸ばし、安心して4月の入園を迎えられるように様々な体験をしました。

保育室隣接の観察室は、保護者が我が子の活動する姿を観察したり、子育ての悩みを語り合うことができる部屋となっています。

イ. 預かり保育の実施

通常保育日は7:30～8:50と14:00～18:00に実施。長期休園中は、7:30～18:00に実施しています。働く保護者が増えていることもあり利用者が増加しています。毎日利用する登録園児は通常は約15名、夏休みは30名あまりでした。

⑧ 課外活動の充実

保育後の活動として、毎週、月曜日は書写教室（年長児）、水曜日に附属高校生によるサッカー教室、金曜日に外部団体による体育教室を実施しました。

⑨ 保護者のサークル活動

保護者同士の交流のために2つのサークルが活動しています。保護者同士の仲間意識がひろがるとともに、子育てについての情報を交換する場にもなっています。

4. 国際交流

(1) 広島文教女子大学

協定校のアメリカ合衆国オハイオ州立ケント大学においては、夏期研修(2ヵ月)及び長期留学(8ヵ月)で学修した単位を、制度化された単位の読み換え基準に従い、卒業の単位として認定しています。平成21年度から、新たにオーストラリアのクイーンズランド工科大学と夏期休暇中(日本では冬季)に実施される、5週間(2月上旬から3月中旬)の英語学習プログラムを修得できる協定を締結し、修得した単位は、4単位まで、本学の卒業必要単位として認定されます。

また、平成25年度からは、夏期休業期間中にオーストラリアのメルボルンにおいて22日間のインターンシップを実施しました。平成26年度は、グローバルコミュニケーション学科の学生6名と初等教育学科の学生1名が、平成26年9月1日から9月22日の期間で参加しました。

(2) 広島文教女子大学附属高等学校

修学旅行の1コースとして、海外ホームステイコースを設定しており、平成26年度は33名がカナダ、ブリティッシュコロンビア州チリワック市で語学研修とホームステイ(約14日間)を経験しました。

留学生受け入れとしましては、今年度はオーストラリアの生徒16名が来校されました。本校生徒と交流し、日本文化に触れ、終日、日本の学校体験をしました。

5. 地域連携

(1) 広島文教女子大学

① 「すずらんひろば高陽」の開設

「すずらんひろば高陽」は、広島市地域子育て支援拠点事業として広島市からの補助金を受けて平成24年10月、安佐北区亀崎地区に開設した子育て広場です。子育て広場とは、おおむね3歳ごろまでのお子様をお持ちの方々を対象として子どもを遊ばせながら、周りの人たちとの会話を楽しみ、あるいはゆったりと時間を過ごす中で日頃のストレスを解消したり、子育てに関する悩みを軽減したりすることを意図した広場です。

平日10時から15時まで開設し、平成25年度は大人延べ4,855名、子ども延べ5,689名の計10,544名もの利用者がありました。今後は、教育の場としての効果的な活用方法についても検討されています。

② 「島根県雲南広域連合」との地域連携協定

平成25年10月、本学は、「観光」「介護・福祉」「人財育成」「食」を中心に、継

続的に協力し取り組んでいく協定を「島根県雲南広域連合」と締結しました。

具体的な活動としては、昨年続き本年度も、グローバルコミュニケーション学科学生 11 人による雲南地域の「女子旅」をテーマにした実地調査を 11 月に行いました。本学 B E C C の外国人教員 12 人を対象に島根県や雲南地域の認知度について事前アンケート調査も行き、学園祭で雲南地域の特産品の P R をするなど、前年の調査結果を生かしながら研究を深化させ、魅力をよりよく発信するための提言を、調査報告書にまとめて提出しました。さらに、2015 年 1 月末には外国人観光客インバウンド対策の調査協力のため、外国人教員 4 人が雲南地域のモニターツアーを行いました。

また、人間福祉学科では、人間福祉学会・島根ブロック大会（11 月）を隣接する出雲市で開き、雲南地域の関係者にも参加を呼びかけました。卒業してから島根県で活躍している卒業生の様子を聞くことや、島根県の福祉現場についての情報交換をすることができました。

（2）広島文教女子大学附属高等学校

「ソシオ学校」（教育活動そのものが地域貢献となる活動）を平成 26 年度も各クラブ単位で組み込みました。各クラブで生徒を中心に企画し、地域の小学校の行事で実験や演奏の企画、地域のお祭りで茶会や演奏のおもてなし、高齢者対象にボランティア演奏会など、各クラブでさまざまな取り組みを行いました。

学年ごとに日にちを設定し、日頃お世話になっている地域に貢献するため、地域清掃活動を行いました。また、自主的に土砂災害のボランティアに参加する生徒も多数見られました。

6. 学生支援サービス

学生の学習及び生活指導などを総合的に実施するための枠組みとして機能することを目的に、平成 18 年度には校務分掌の改変を行いました。平成 20 年度からは、入学前教育を含む学習支援として学習支援室を設置しました。

一方、本学の学生に対する経済的支援は、奨学金制度、学納金等優遇減免制度、留学生支援援助制度及び教育ローン利息補給制度があり、それぞれの目的に応じて有機的に機能させています。また、入学試験の成績優秀者を対象とする入学試験スカラシップ制度も整えており、平成 24 年度から一部の減免率を上げて対象枠を拡大する制度の拡充を行いました。

その他、学生の健康面、心理面、生活面のサポートは、保健室、学生相談室、学生サポート課が緊密な連携を取りながら行っています。

7. キャンパス整備

（1）広島文教女子大学

① 学修環境の整備

平成 25 年度は、文部科学省の補助金事業を利用して、「学生の主体的な学修並びに学修習慣を確立、建学の精神に基づく教育目標の達成を図る」ことを目的に附属図書館の学修環境整備を行い、ラーニングコモンズ^{※1}を設置しました。

また平成 26 年度は、個別学修専用施設 ILS (Independent Learning Suite) を同じく文部科学省の補助金事業によって開設しました。これにより、学生一人ひとりのニーズに合わせた学修環境の整備がさらに大きく前進しました。

※1. 「ラーニングコモンズ」：複数の学生が集まって、電子情報も印刷物も含めた様々な情報資源から得られる情報を用いて議論を進めていく学習スタイルを可能にする「場」。

② アクティブラーニング^{※2}を可能とする教室の設置

図書館「ラーニングコモンズ」の設置に追加し、4号館の2階に「アクティブラーニングを可能とする教室」を設置しました。

※2. 「アクティブラーニング」：教員による一方向的な講義形式の教育とは異なり、学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法。

③学内ネットワーク環境構築と専用スタジオの整備

ICT（情報通信技術）の活用推進を図るため、1号館から8号館及び体育館へ基幹となるネットワークを整備しました。各建物にWi-Fiを整備して、学生は学内の殆どの場所から手軽にネットワークにアクセスできるようになりました。

(2) 広島文教女子大学附属高校

総事業費14億7千万円をかけて、平成22年12月着工のサッカーグラウンド整備工事が平成23年11月末に完成しました。縦105m、横68m、ナイター照明施設や観戦デッキを完備した人工芝のメーングラウンド、その他関連の施設としてクラブハウスやフットサル場、両翼70mのソフトボール場等も整備しました。

(3) 広島文教女子大学附属幼稚園

8月の大雨水害による不具合により、図書室の壁紙の張り替え、園長室の壁紙と床の張り替え、園バス運転手の休憩室の床の張り替え等を行いました。

園児増加により各クラスのロッカーの増設、ホールのスピーカーの不具合による取り替え、ころころフレンズのトイレ改修、手洗い洗面器の整備等を行いました。

8. キャリア形成と卒業生の進路・就職状況

(1) 広島文教女子大学

平成 27 年 3 月卒業生の就職率は 94.7%となりました。

平成 28 年 3 月卒業の学年から就職活動時期が 3 年生の 3 月開始に繰り下げられたこともあり、学生をとりまく就職環境が大きく変化し始めました。キャリアセンター・就職課ではその変化に対応し学生の希望進路の実現をサポートするために、次

のとおり就職支援と指導を行いました。

① 小規模大学の強みを活かした個別支援

一人ひとりに向き合う個別支援に重点を置き、きめ細かなサポートを徹底して行いました。個別面談は3・4年生の全員面談（前期/後期）の他、学年に関係なくキャリア・コンサルティングが受けられる体制を整えています。

② 女子大ならではのキャリア教育

女性のキャリア形成は結婚・出産などのライフイベントの影響を受けやすく、男性のキャリア形成と異なります。本学では、ライフイベントによって職業人生を中断した場合でも、再びキャリアを継続して形成していく力を育て、真の女性の自立をめざしたキャリア教育を1年生から展開しています。

③ キャリアガイダンスの充実

年間10数回の就職ガイダンスに加え、平成26年度は1・2年生対象の「キャリアガイダンス」、3年生の保護者と学生が同席する「保護者・学生就職ガイダンス」、4年生対象の「就活応援講座」を新たに企画・実施しました。また、次年度から就職試験が始まる3年生を対象として、少数精鋭の先頭集団を育成するため、「フロントランナー養成講座」も企画しました。そのうちの一つである「話す力（プレゼンテーション）」では、図書館事務室とのコラボレーション企画として、部署を越えた連携を図りました。

(2) 広島文教女子大学附属高等学校

本校の卒業生の進路は、次の表に示すように、ほとんどが進学であります。その中でも、近年国公立大学へ進学希望・合格実績も増加しており、平成26年度は国公立大学にはA・Bコース合わせて6名が現役合格しました。

広島文教女子大学への進学志望者も多く、Bコースの約26%が進学しています。平成26年度卒業生も希望進路に向け最後まで努力しよく健闘しました。

本校では、進路の夢をまず大きく広げ、その実現を目指して日々の学校生活を頑張らせる指導を行っています。大学見学や大学模擬授業、附属幼稚園観察実習、一日看護体験実習、介護講習など、自分の夢を確認し、強くできる企画もしています。

また、4年制大学進学希望者には、大学入試センター試験を受験することを前提とした指導をしており、今年度卒業生の受験者は、144名中41名でした。

平成27年度入試 合格状況

国公立大学

学 校 名	学 部 名	学 科 名	合格者数
広島大学	教育	間形成基礎系/教育学	1
		生涯活動教育系/人間生活	1
	法	法	1
県立広島大学	生命環境	生命科学	1
	保健福祉	看護	1
下関市立大学	経済	経済	1
北九州市立大学	文	人間関係	1
国公立大学合格者数合計			7

私立大学 県外

学 校 名	学 部 名	学 科 名	合格者数
尚美学園大学	総合政策	ライフマネジメント	1
日本大学	芸術	デザイン	1
京都精華大学	ポピュラーカルチャー	ポピュラーカルチャー/音楽コース	1
京都ノートルダム女子大学	心理	心理/現代心理	1
大谷大学	文	歴史	2
同志社女子大学	現代社会	社会システム	2
龍谷大学	文	歴史/日本史	1
大阪体育大学	教育	保健体育教育	1
近畿大学	工	化学生命工	2
神戸女子大学	文	教育	2
園田学園女子大学	人間教育	児童教育	1
武庫川女子大学	健康スポーツ	健康スポーツ科	1
岡山理科大学	理	生物化	1
倉敷芸術科学大学	芸術	デザイン芸術	1
徳山大学	経済	ビジネス戦略/スポーツマネジメント	1
西南学院大学	人間科学	児童教育	1
県外私立大学合格者数合計			20

私立大学 県内

学 校 名	学 部 名	学 科 名	合格者数
広島文教女子大学	人間科学	グローバルコミュニケーション	6

		初等教育	13
		人間福祉	12
		心理	6
		人間栄養	7
		小 計	44
エリザベト音楽大学	音楽	演奏	1
広島文化学園大学	看護	看護	4
広島工業大学	工	建築工	1
	情報	情報工	1
		知的情報システム	1
広島修道大学	人文	英語英文	3
		人間関係／教育学専攻	3
		人間関係／社会学専攻	4
		人間関係／心理学専攻	1
	法	法律	1
		国際政治	2
	商	経営	1
	経済科学	現代経済	1
経済情報		1	
人間環境	人間環境	1	
広島女学院大学	国際教養	国際教養	2
	人間生活	生活デザイン	2
		管理栄養	1
安田女子大学	文	日本文	2
		書道	1
	心理	心理	5
	現代ビジネス	現代ビジネス	6
	薬	薬	1
	看護	看護	3
広島国際大学	医療経営	医療経営/病院管理学	1
		医療経営/医療ビジネス学	2
	看護	看護	2
	薬	薬	1
福山大学	人間文化	人間文化	2
日赤広島看護大学	看護	看護	1

広島都市学園大学	健康科学	看護	3
		リハビリテーション/理学療法学専攻	1
		リハビリテーション/作業療法学専攻	1
県内私立大学合格者数合計			108

私立短期大学

学 校 名	学 科 名	合格者数
川崎医療短期大学	医療介護福祉	1
環太平洋大学短期大学部	人間発達	1
比治山女子短期大学部	美術	1
広島文化学園大学短期大学	コミュニティ生活	5
私立短期大学合格者数合計		8

専門学校

学 校 名	専 攻 名	進学者数
広島歯科衛生専門学校		1
大阪医専	救命救急	1
	実践看護	1
神戸医療福祉専門学校三田校	言語聴覚士	1
南大阪看護専門学校	看護	1
広島工業大学専門学校	音響・映像メディア	1
	情報	1
広島コンピュータ専門学校	ゲームCG	1
広島県理美容専門学校	専門課程 美容科	2
専門学校マインドビューティーカレッジ	専門課程 美容師科	1
広島美容専門学校	美容科	2
広島ビューティーアート専門学校	トータルビューティ科	1
広島製菓専門学校	洋菓子科	2
広島YMCA専門学校	社会体育科	1
広島ビジネス専門学校	キャリアビジネス科	1
広島情報ビジネス専門学校	総合ビジネス科	3
小井出ファッションビューティ専門学校	ファッション・デザイン科	1
広島アニマルケア専門学校	動物管理学科	2
広島リゾート&スポーツ専門学校	健康スポーツ科	1
文化服装学院 広島校	トータルファッション	1

穴吹医療福祉専門学校	ワーキングスタディ学科	1
東京ダンス&アクターズ専門学校		1
広島市医師会看護専門学校		1
安佐准看護専門学校		3
朝日医療専門学校	柔道整復	2
広島公務員専門学校	公務員科2年コース	1
福岡スクールオブM&D専門学校	商業音楽	1
専門学校合格者数合計		36

就職

会社等名		就職者数
株式会社 シトロン		1
医療社団法人 広島厚生会		1
社会福祉法人 広島常光福祉会		1
復建調査設計株式会社		1
株式会社 亀石		1
就職者数合計		5

III.財務の概要 (平成26年度決算状況)

1. 財産目録

財産目録(平成27年3月31日現在)		
I 資産総額		10,978,372,064 円
内 基本財産		8,133,099,106 円
運用財産		2,845,272,958 円
収益事業用財産		－ 円
II 負債総額		1,076,354,251 円
III 正味財産		9,902,017,813 円
区 分	金 額	
資産額		
1 基本財産		
土地	151,233㎡	2,757,131,640 円
建物	43,711㎡	3,567,677,799 円
図書	248,678冊	1,105,768,214 円
教具・校具・備品	18,873点	248,037,155 円
その他		454,484,298 円
2 運用財産		
現金預金		2,327,856,601 円
その他		517,416,357 円
3 収益事業用財産		
		－ 円
資産総額		10,978,372,064 円
負債額		
1 固定負債		
長期借入金		128,190,000 円
退職給与引当金		405,309,577 円
2 流動負債		
短期借入金		10,020,000 円
未払金		19,195,723 円
前受金		489,847,000 円
預り金		23,791,951 円
負債総額		1,076,354,251 円
正味財産(資産総額－負債総額)		9,902,017,813 円

2. 貸借対照表

貸借対照表については、次表のとおりです。

貸借対照表			
平成27年 3月31日			
(単位 円)			
資 産 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固定資産	(8,565,026,926)	(8,743,937,069)	(△ 178,910,143)
有形固定資産	< 8,262,279,638 >	< 8,434,386,881 >	< △ 172,107,243 >
土地	2,886,312,172	2,886,312,172	0
建物	3,567,677,799	3,725,462,423	△ 157,784,624
構築物	444,012,476	480,213,102	△ 36,200,626
教育研究用機器備品	229,359,630	217,344,005	12,015,625
その他の機器備品	18,677,525	16,316,018	2,361,507
図書	1,105,768,214	1,095,036,457	10,731,757
車両	10,471,822	13,702,704	△ 3,230,882
その他の固定資産	< 302,747,288 >	< 309,550,188 >	< △ 6,802,900 >
電話加入権	1,828,300	1,828,300	0
施設利用権	4,108,186	4,583,013	△ 474,827
出資金	701,600	685,100	16,500
ソフトウェア	21,072,332	27,586,565	△ 6,514,233
長期貸付金	2,258,000	2,558,000	△ 300,000
退職給与引当特定預金	220,000,000	220,000,000	0
第3号基本金引当特定預金	52,500,000	52,000,000	500,000
敷金	155,400	155,400	0
預託金	123,470	153,810	△ 30,340
流動資産	(2,413,345,138)	(2,355,013,827)	(△ 58,331,311)
現金預金	2,327,856,601	2,170,764,931	157,091,670
未収入金	79,609,700	177,722,160	△ 98,112,460
貯蔵品	3,813,130	3,977,909	△ 164,779
仮払金	354,489	870,645	△ 516,156
前払金	1,711,218	1,678,182	33,036
資 産 の 部 合 計	10,978,372,064	11,098,950,896	△ 120,578,832
(単位 円)			
負 債 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固定負債	(533,499,577)	(546,517,754)	(△ 13,018,177)
長期借入金	128,190,000	138,210,000	△ 10,020,000
退職給与引当金	405,309,577	408,307,754	△ 2,998,177
流動負債	(542,854,674)	(660,591,168)	(△ 117,736,494)
短期借入金	10,020,000	10,020,000	0
未払金	19,195,723	130,944,520	△ 111,748,797
前受金	489,847,000	498,694,500	△ 8,847,500
預り金	23,791,951	20,932,148	2,859,803
負 債 の 部 合 計	1,076,354,251	1,207,108,922	△ 130,754,671
基 本 金 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
第1号基本金	15,631,673,746	15,550,396,596	81,277,150
第3号基本金	52,500,000	52,000,000	500,000
第4号基本金	187,000,000	187,000,000	0
基 本 金 の 部 合 計	15,871,173,746	15,789,396,596	81,777,150
消 費 収 支 差 額 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
翌年度繰越 消費支出超過額	5,969,155,933	5,897,554,622	71,601,311
消 費 収 支 差 額 の 部 合 計	△ 5,969,155,933	△ 5,897,554,622	△ 71,601,311
及 び 消 費 収 支 差 額 の 部 合 計			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
負債の部、基本金の部 及び消費収支差額の部 合 計	10,978,372,064	11,098,950,896	△ 120,578,832

3. 収支計算書

(1) 資金収支計算書

資金収支計算書は、次表のとおりです。

資金収支計算書			
平成26年 4月 1日 から			
平成27年 3月31日 まで			
(単位 円)			
収 入 の 部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	(1,687,694,000)	(1,680,028,094)	(7,665,906)
授業料収入	1,121,659,000	1,111,608,150	10,050,850
入学金収入	125,698,000	125,798,000	△ 100,000
入学手続金収入	33,720,000	33,720,000	0
実験実習料収入	26,837,000	27,939,744	△ 1,102,744
施設設備資金収入	376,924,000	378,114,200	△ 1,190,200
教材費収入	2,856,000	2,848,000	8,000
手数料収入	(32,379,000)	(29,336,790)	(3,042,210)
入学検定料収入	28,559,000	25,640,000	2,919,000
試験料収入	570,000	322,000	248,000
証明手数料収入	650,000	752,700	△ 102,700
大学入試センター試験実施手数料収入	2,600,000	2,622,090	△ 22,090
寄付金収入	(8,000,000)	(9,365,704)	(△ 1,365,704)
特別寄付金収入	2,400,000	1,820,000	580,000
一般寄付金収入	5,600,000	7,545,704	△ 1,945,704
補助金収入	(525,480,000)	(490,319,112)	(35,160,888)
国庫補助金収入	281,854,000	235,750,000	46,104,000
地方公共団体補助金収入	243,626,000	254,569,112	△ 10,943,112
資産運用収入	(7,000,000)	(8,688,611)	(△ 1,688,611)
受取利息・配当金収入	5,870,000	7,223,458	△ 1,353,458
施設設備利用料収入	220,000	717,935	△ 497,935
地代収入	910,000	747,218	162,782
事業収入	(152,400,000)	(149,556,614)	(2,843,386)
補助活動収入	139,300,000	142,002,614	△ 2,702,614
受託事業収入	2,300,000	1,300,000	1,000,000
公開講座収入	9,000,000	4,754,000	4,246,000
免許状更新講習料収入	1,800,000	1,500,000	300,000
雑収入	(54,664,000)	(52,248,860)	(2,415,140)
私立大学退職金財団交付金収入	35,306,000	33,241,835	2,064,165
広島県私学振興財団等交付金収入	7,884,000	9,083,700	△ 1,199,700
研究関連収入	700,000	849,000	△ 149,000
損害保険金収入	6,000,000	5,396,130	603,870
その他の雑収入	4,774,000	3,678,195	1,095,805
借入金等収入	(5,000,000)	(5,000,000)	(0)
短期借入金収入	5,000,000	5,000,000	0
前受金収入	(552,668,500)	(489,847,000)	(62,821,500)
授業料前受金収入	251,869,000	243,054,000	8,815,000
入学金前受金収入	168,330,000	111,200,000	57,130,000
入学手続金前受金収入	40,700,000	36,190,000	4,510,000
施設設備資金前受金収入	84,745,000	87,985,000	△ 3,240,000
補助活動前受金収入	6,900,000	11,313,000	△ 4,413,000
その他の雑収入前受金収入	124,500	105,000	19,500
その他の収入	(178,061,840)	(181,412,553)	(△ 3,350,713)
前期末未収入金収入	177,722,160	177,722,160	0
長期貸付金回収収入	300,000	300,000	0
預り金受入収入	0	2,834,557	△ 2,834,557
預託金回収収入	39,680	39,680	0
仮払金回収収入	0	516,156	△ 516,156
資金収入調整勘定	(△ 548,694,500)	(△ 578,809,200)	(30,114,700)
期末未収入金	△ 50,000,000	△ 80,114,700	30,114,700
前期末前受金	△ 498,694,500	△ 498,694,500	0
前年度繰越支払資金	(2,170,764,931)	(2,170,764,931)	
収入の部合計	4,825,417,771	4,687,759,069	137,658,702

				(単位 円)
支 出 の 部				
科 目	予 算	決 算	差 異	
人件費支出	(1,483,591,170)	(1,414,034,862)	(69,556,308)	
教員人件費支出	1,124,404,155	1,053,028,455	71,375,700	
職員人件費支出	289,901,845	290,991,275	△ 1,089,430	
役員報酬支出	17,764,000	18,743,202	△ 979,202	
退職金支出	51,521,170	51,271,930	249,240	
教育研究経費支出	(527,935,971)	(478,214,394)	(49,721,577)	
旅費交通費支出	67,300,000	73,250,087	△ 5,950,087	
福利費支出	170,000	368,540	△ 198,540	
消耗品費支出	78,700,000	63,072,622	15,627,378	
燃料費支出	710,000	839,894	△ 129,894	
印刷製本費支出	17,000,000	16,619,384	380,616	
光熱水費支出	70,000,000	67,282,329	2,717,671	
修繕費支出	116,600,000	82,687,335	33,912,665	
通信運搬費支出	7,850,000	11,426,379	△ 3,576,379	
保険料支出	5,963,371	4,888,474	1,074,897	
公租公課支出	492,600	622,434	△ 129,834	
負担金支出	29,700,000	26,304,538	3,395,462	
会議費支出	210,000	276,329	△ 66,329	
奨学費支出	90,400,000	89,835,318	564,682	
保健衛生費支出	11,500,000	12,774,290	△ 1,274,290	
賃借料支出	12,600,000	10,173,060	2,426,940	
講師謝礼支出	5,130,000	3,760,132	1,369,868	
海外研修費支出	2,000,000	2,747,031	△ 747,031	
雑費支出	11,010,000	11,286,218	△ 276,218	
建物除却費支出	600,000	0	600,000	
管理経費支出	(255,950,500)	(233,254,816)	(22,695,684)	
報償費支出	6,550,000	6,974,387	△ 424,387	
旅費交通費支出	9,910,000	12,636,412	△ 2,726,412	
交際費支出	1,175,000	1,118,117	56,883	
福利費支出	2,915,000	4,360,875	△ 1,445,875	
消耗品費支出	10,430,000	8,667,569	1,762,431	
燃料費支出	0	29,373	△ 29,373	
印刷製本費支出	20,900,000	21,349,337	△ 449,337	
光熱水費支出	751,000	938,578	△ 187,578	
修繕費支出	15,280,000	7,908,186	7,371,814	
通信運搬費支出	4,875,000	4,237,709	637,291	
保険料支出	220,000	142,070	77,930	
公租公課支出	3,060,000	4,460,241	△ 1,400,241	
負担金支出	18,770,000	10,680,508	8,089,492	
会議費支出	51,000	34,846	16,154	
広告費支出	57,150,000	47,205,703	9,944,297	
保健衛生費支出	251,500	250,479	1,021	
賃借料支出	7,106,000	4,825,625	2,280,375	
講師謝礼支出	26,000	644,779	△ 618,779	
雑費支出	1,830,000	1,911,706	△ 81,706	
補助活動仕入支出	94,700,000	94,878,316	△ 178,316	
借入金等利息支出	(2,260,000)	(2,251,363)	(8,637)	
借入金利息支出	2,260,000	2,251,363	8,637	
借入金等返済支出	(15,020,000)	(15,020,000)	(0)	
借入金返済支出	15,020,000	15,020,000	0	
施設関係支出	(42,500,000)	(15,298,354)	(27,201,646)	
建物支出	29,000,000	9,625,554	19,374,446	
構築物支出	13,500,000	5,672,800	7,827,200	
設備関係支出	(116,820,000)	(89,521,006)	(27,298,994)	
教育研究用機器備品支出	95,800,000	74,482,336	21,317,664	
その他の機器備品支出	8,700,000	4,272,073	4,427,927	
図書支出	10,200,000	9,264,218	935,782	
車両支出	2,000,000	1,502,379	497,621	
敷金支出	120,000	0	120,000	
資産運用支出	(525,000)	(516,500)	(8,500)	

				(単位 円)
科 目	予 算	決 算	差 異	
出資金支出	25,000	16,500	8,500	
第3号基本金引当特定預金繰入支出	500,000	500,000	0	
その他の支出	(139,494,520)	(132,665,078)	(6,829,442)	
預託金支出	50,000	9,340	40,660	
前期末未払金支払支出	130,944,520	130,944,520	0	
前払金支払支出	5,000,000	1,711,218	3,288,782	
仮払金支払支出	2,000,000	0	2,000,000	
預り金支払支出	1,500,000	0	1,500,000	
〔予備費〕	(0)			
〔予備費〕	25,000,000		25,000,000	
資金支出調整勘定	(△ 41,678,182)	(△ 20,873,905)	(△ 20,804,277)	
期末未払金	△ 40,000,000	△ 19,195,723	△ 20,804,277	
前期末前払金	△ 1,678,182	△ 1,678,182	0	
次年度繰越支払資金	(2,257,998,792)	(2,327,856,601)	(△ 69,857,809)	
支 出 の 部 合 計	4,825,417,771	4,687,759,069	137,658,702	

(2) 消費収支計算書

消費収支計算書は、次表のとおりです。

消費収支計算書			
平成26年 4月 1日 から			
平成27年 3月31日 まで			
(単位 円)			
消費収入の部	予 算	決 算	差 異
科 目			
学生生徒等納付金	(1,687,694,000)	(1,680,028,094)	(7,665,906)
授業料	1,121,659,000	1,111,608,150	10,050,850
入学金	125,698,000	125,798,000	△ 100,000
入学手続金	33,720,000	33,720,000	0
実験実習料	26,837,000	27,939,744	△ 1,102,744
施設設備資金	376,924,000	378,114,200	△ 1,190,200
教材費	2,856,000	2,848,000	8,000
手数料	(32,379,000)	(29,336,790)	(3,042,210)
入学検定料	28,559,000	25,640,000	2,919,000
試験料	570,000	322,000	248,000
証明手数料	650,000	752,700	△ 102,700
大学入試センター試験実施手数料	2,600,000	2,622,090	△ 22,090
寄付金	(10,800,000)	(13,670,404)	(△ 2,870,404)
特別寄付金	2,400,000	1,820,000	580,000
一般寄付金	5,600,000	7,545,704	△ 1,945,704
現物寄付金	2,800,000	4,304,700	△ 1,504,700
補助金	(525,480,000)	(490,319,112)	(35,160,888)
国庫補助金	281,854,000	235,750,000	46,104,000
地方公共団体補助金	243,626,000	254,569,112	△ 10,943,112
資産運用収入	(7,000,000)	(8,688,611)	(△ 1,688,611)
受取利息・配当金	5,870,000	7,223,458	△ 1,353,458
施設設備利用料	220,000	717,935	△ 497,935
地代	910,000	747,218	162,782
事業収入	(152,400,000)	(149,556,614)	(2,843,386)
補助活動収入	139,300,000	142,002,614	△ 2,702,614
受託事業収入	2,300,000	1,300,000	1,000,000
公開講座収入	9,000,000	4,754,000	4,246,000
免許状更新講習料収入	1,800,000	1,500,000	300,000
雑収入	(54,764,000)	(52,248,860)	(2,515,140)
私立大学退職金財団交付金	35,306,000	33,241,835	2,064,165
広島県私学振興財団等交付金	7,884,000	9,083,700	△ 1,199,700
研究関連収入	700,000	849,000	△ 149,000
損害保険金	6,000,000	5,396,130	603,870
退職給与引当金戻入額	100,000	0	100,000
その他の雑収入	4,774,000	3,678,195	1,095,805
帰属収入合計	2,470,517,000	2,423,848,485	46,668,515
基本金組入額合計	△ 87,200,000	△ 84,584,682	△ 2,615,318
消費収入の部合計	2,383,317,000	2,339,263,803	44,053,197

				(単位 円)
消費支出の部				
科 目	予 算	決 算	差 異	
人件費	(1,546,374,798)	(1,411,036,685)	(135,338,113)
教員人件費	1,124,404,155	1,053,028,455		71,375,700
職員人件費	289,901,845	290,991,275	△	1,089,430
役員報酬	17,764,000	18,743,202	△	979,202
退職金	13,640,042	20,004,120	△	6,364,078
退職給与引当金繰入額	100,664,756	28,269,633		72,395,123
教育研究経費	(776,704,213)	(742,502,403)	(34,201,810)
旅費交通費	67,300,000	73,250,087	△	5,950,087
福利費	170,000	368,540	△	198,540
消耗品費	78,700,000	63,122,806		15,577,194
燃料費	710,000	839,894	△	129,894
印刷製本費	17,000,000	16,619,384		380,616
光熱水費	70,000,000	67,282,329		2,717,671
修繕費	116,600,000	82,687,335		33,912,665
通信運搬費	7,850,000	11,505,145	△	3,655,145
保険料	5,963,371	4,888,474		1,074,897
公租公課	492,600	622,434	△	129,834
負担金	29,700,000	26,304,538		3,395,462
会議費	210,000	276,329	△	66,329
奨学費	90,400,000	89,835,318		564,682
保健衛生費	11,500,000	12,774,290	△	1,274,290
賃借料	12,600,000	10,173,060		2,426,940
講師謝礼	5,130,000	3,760,132		1,369,868
海外研修費	2,000,000	2,747,031	△	747,031
減価償却額	248,768,242	264,159,059	△	15,390,817
雑費	11,010,000	11,286,218	△	276,218
建物除却費	600,000	0		600,000
管理経費	(276,167,148)	(254,470,845)	(21,696,303)
報償費	6,550,000	6,974,387	△	424,387
旅費交通費	9,910,000	12,636,412	△	2,726,412
交際費	1,175,000	1,118,117		56,883
福利費	2,915,000	4,360,875	△	1,445,875
消耗品費	10,430,000	8,261,069		2,168,931
燃料費	0	29,373	△	29,373
印刷製本費	20,900,000	21,349,337	△	449,337
光熱水費	751,000	938,578	△	187,578
修繕費	15,280,000	7,908,186		7,371,814
通信運搬費	4,875,000	4,259,914		615,086
保険料	220,000	142,070		77,930
公租公課	3,060,000	4,457,741	△	1,397,741
負担金	18,770,000	10,680,508		8,089,492
会議費	51,000	34,846		16,154
広告費	57,150,000	47,508,464		9,641,536
保健衛生費	251,500	250,479		1,021
賃借料	7,106,000	4,825,625		2,280,375
講師謝礼	26,000	644,779	△	618,779
雑費	1,830,000	1,936,952	△	106,952
補助活動収入原価	94,700,000	95,285,459	△	585,459
減価償却額	20,216,648	20,867,674	△	651,026
借入金等利息	(2,260,000)	(2,251,363)	(8,637)
借入金利息	2,260,000	2,251,363		8,637
資産処分差額	(5,200,100)	(2,906,350)	(2,293,750)
不動産処分差額	2,100,000	1,780,272		319,728
動産除却差額	3,100,100	1,126,075		1,974,025
動産処分差額	0	3	△	3
徴収不能引当金繰入額	(0)	(505,000)	(△	505,000)
〔予備費〕	25,000,000			25,000,000
消費支出の部合計	2,631,706,259	2,413,672,646		218,033,613
当年度消費支出超過額	248,389,259	74,408,843		

科 目	予 算	決 算	差 異	
前年度繰越消費支出超過額	5,897,554,622	5,897,554,622		
基本金取崩額	(0)	(2,807,532)		
基本金取崩額	0	2,807,532		
翌年度繰越消費支出超過額	6,145,943,881	5,969,155,933		

(3) 消費収支経年比較表

(単位：百万円)

科 目	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	前年度比
学生生徒等納付金	1,508	1,614	1,606	1,683	1,680	△3
手数料	32	31	34	30	29	△1
寄付金	17	5	4	19	14	△5
補助金	480	470	457	536	490	△46
資産運用収入	10	9	10	8	9	1
資産売却差額	0	0	0	0	0	—
事業収入	121	127	126	159	150	△9
雑収入	106	51	37	160	52	△108
帰属収入計	2,274	2,307	2,272	2,596	2,424	△172
基本金組入額計	△285	△564	△161	△123	△85	38
消費収入の部計	1,989	1,743	2,111	2,473	2,339	△134
人件費	1,493	1,356	1,472	1,585	1,411	△174
教育研究経費	700	638	684	695	743	48
管理経費	278	238	240	261	254	△7
借入金等利息	3	3	3	2	2	—
資産処分差額	4	1	1	1	3	2
徴収不能額	1	1	1	0	1	1
消費支出の部計	2,479	2,237	2,401	2,545	2,414	△131
消費支出超過額	490	494	290	72	74	2

監事監査報告書

平成 27 年 5 月 27 日

学校法人武田学園
理事会 様
評議員会 様

学校法人武田学園

監事 友廣和有
監事 久保田宏治

私たちは、学校法人武田学園の監事として、私立学校法第 37 条第 3 項及び学校法人武田学園寄附行為第 16 条の規定に基づき、学校法人武田学園の平成 26 年度(平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで)の業務並びに財産の状況について監査した。

私たちは監査に当たり、理事会及び評議員に出席し、理事から業務の報告を聴取し、重要な決済書類を閲覧するとともに、会計監査人と連携し、計算書類について検討するなど、必要と思われる監査手続きを実施した。

監査の結果、学校法人武田学園の業務に関する決定及び執行は適切であり、計算書類、すなわち資金収支計算書、消費収支計算書及び貸借対照表(固定資産明細表、借入金明細表及び基本金明細表を含む。)並びに財産目録は、会計帳簿の記載と合致し、その収支及び財産の状況を正しく示しており、業務または財産に関し不正の行為または法令もしくは寄附行為に違反する重大な事実のないことを認める。

以上